

大学の学びに役立つ

2017年度 春学期 学習支援・教育開発センター開催

アカデミックスキルセミナー

同志社大学
大学生
対象

90min

No.	セミナー名	概要	日時
1	学術文献の読み方	自らの課題・テーマを念頭に、どう文献を読み進めればよいのかを、レクチャーと実習を通して学びます。	5/24(水)4講時 7/11(火)3講時
2	アイデアの拡張法	マインドマップと検索エンジンを使い、レポート・論文作成に役立つアイデア出しの方法を学びます。	5/19(金)3講時 7/27(木)4講時
3	伝わる文章の書き方	どうすれば伝わる文章が書けるか、レクチャーと実習を通して学びます。	5/17(水)4講時 6/22(木)3講時
4	プレゼンの構成法	伝わるプレゼンの作り方・話し方等、事例を元にして学びます。	5/10(水)4講時 6/12(月)3講時 7/07(金)3講時
5	グループでのアイデア出し	グループで多くのアイデアを出す方法、またそれらの絞り方についてレクチャーと実習を通して学びます。 (受講者が3名以上必要)	7/18(火)4講時
6	レポートの構成法	レポートとはどのようなものなのか。レポートを書く際、最低限知っておくべき基本を学びます。	5/23(火)4講時 6/16(金)3講時 7/19(木)4講時
7	ノートの取り方	聴きながらとる、読みながらとる。高校までとは違う、大学でのノートの取り方、まとめ方のコツを学びます。	5/08(月)3講時 6/01(木)4講時
8	ポスターの作り方	身近なツールを利用し、ポスター発表等で必要となるコツや技をサンプルを交えて学びます。	6/30(金)3講時 7/24(月)4講時
9	レジュメの作り方	授業やゼミの発表に欠かせないレジュメ。レジュメ作成のポイント、レクチャーと実習を通して学びます。	5/18(木)4講時 6/07(水)3講時
10	引用の方法	なぜ引用するのか、どのような引用形式があるのか。「コピペ」と言われないレポートのルールを学びます。	6/06(火)3講時 7/13(木)4講時
11	情報探索の方法	調べ方の見当もつかないものをどう調べるか。その情報をどのように使用するか。大学で本当に必要な情報探索法を学びます。	5/09(火)3講時 7/14(金)4講時

30min

No.	セミナー名	概要	日時
I	ノートの取り方	聴きながらとる、読みながらとる。高校までとは違う、大学でのノートの取り方、まとめ方のコツを学びます。	4/25(火) 5/15(月)
II	伝わる文章の書き方	どうすれば伝わる文章が書けるか、ミニレクチャーと実習を通して学びます。	5/25(木) 7/26(水)
III	プレゼンの構成法	伝わるプレゼンの作り方・話し方等、事例を元にして学びます。	4/27(木) 6/28(水)
IV	レポートの構成法	レポートとはどのようなものなのか。レポートを書く際、最低限知っておくべき基本を学びます。	4/26(水) 6/13(火)
V	引用の方法	なぜ引用するのか、どのような引用形式があるのか。「コピペ」と言われないレポートのルールを学びます。	5/12(金) 6/27(火)
VI	図・表の見方・作り方	グラフにはどのような意味があるのか、その使い方や図表内の数値の見方、作図・作表の方法を学びます。	5/31(水) 7/06(木)
VII	メールの書き方	教員に送る、調査先にアポイントメントをとる。その際、失礼にならない電子メールの書き方を学びます。	5/29(月) 6/02(金)

※30分セミナーの時間帯はすべて12:30-13:00（お昼休み内）です。

受講を希望される方は、**開催日の前日までに**良心館ラーニング・commons HP(<http://ryoshinkan-lc.doshisha.ac.jp/>)から、各セミナーの参加申し込みページへ飛び、お申込み下さい。キャンセルおよび欠席される場合は、お早めにイベント予約サイトよりキャンセル手続きを行ってください。

- ・希望者には「受講証明書」を発行しています。
- ・定員は30名です。より多くの学生さんへ受講機会を提供するために、無断欠席はお控えください。



良心館ラーニング・commons
ホームページ

話が聞きたいけど、
時間が合わない……

勉強に
関することなら

平日10:00-19:00

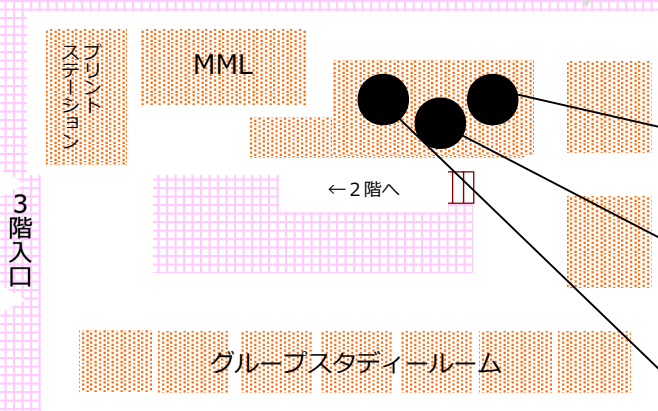
学習相談も

受け付けています。

アカデミック・
インストラクター
(専門チューター/教員)

情報探索アシスタント
(文献、資料検索サポート/スタッフ)

ラーニング・
アシスタント
(学習アドバイザー/大学院生)



良心館ラーニング・commons 3階

●● 学習相談の前に知っておいていただきたいこと ●●

- ・私たちは、相談内容をお聞きして、助言（アドバイス）をいたします。課題の答えを直接教えたり、文献検索やパソコンの操作など具体的な作業を直接代行することはできません。
- ・1回の相談時間は30分を目安としています。
- ・以下のような場合には、相談に対応できない場合があります。
主体的な学習の支援に関係しないと判断したとき
適切な他の機関（キャリアセンターなど）を紹介可能なとき
- ・レポート・論文に関する相談の場合、印刷の上持参して頂けると、スムーズに相談に対応できます。出来ているところまで構いません。

同志社大学
学習支援・教育開発センター
E-mail:
clf-seminar@mail.doshisha.ac.jp
TEL:
075-251-3277